



「花開く春のために」

校長 小林 和雄

2月を迎え、今年度も残り2か月となりました。
毎日、寒い日が続いていますが、そのような中でも、毎朝、私と目を合わせて、笑顔で「おはようございます！」とあいさつをしてくれる子がたくさんいます。
埼玉県では、子どもが社会の一員として守らなければならないいきまりや行動の仕方を身に付け、時と場に応じて自ら行動し、責任のある態度がとれるようにすることを目指して、『規律ある態度』達成目標を掲げ、県内の小・中学校で取り組んでいます。その中に、“あいさつ”の目標も設定されています。1・2年生は「元氣よくあいさつをすることができる」、3・4年生は「相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができる」5・6年生は「自分からはっきりあいさつをすることができる」です。12月の子どもたちの自己評価では、どの学年も90%を大きく上回る高い達成率（「よくできる」「だいたいできる」と回答した割合）でした。
あいさつはとても短い言葉ですが、相手の気持ちを一瞬で幸せにできる「魔法の言葉」でもあります。これからも心を込めたあいさつができる子どもたちであってほしいと思います。

京都の嵯峨に住む染織家志村ふくみさんの仕事場で話していたおり、志村さんがなんと美しい桜色に染まった糸で織った着物を見せてくれた。そのピンクは淡いようでいて、しかも燃えるような強さを内に秘め、はなやかで、しかも深く落ち着いている色だった。その美しさは目と心を吸い込むように感じられた。

「この色は何から取り出したんですか。」

「桜からです。」

と志村さんは答えた。素人の気安さで、私はすぐに桜の花びらを煮詰めて色を取り出したものだろうと思った。実際はこれは桜の皮から取り出した色なのだった。あの黒っぽいごつごつした桜の皮からこの美しいピンクの色が取れるのだという。志村さんは続いてこう教えてくれた。この桜色は一年中どの季節でもとれるわけではない。桜の花が咲く直前のころ、山の桜の皮をもらってきて染めると、こんな上気したような、えもいわれぬ色が取り出せるのだ、と。

これは、大岡 信さんの「言葉の力」という随筆の一節です。

学校では、3学期のことを「来年度の0学期」と言うことがあります。4月に新しい学年として1学期を迎えるにあたり、その準備をする学期という意味です。桜が、樹全体で花を咲かせる準備をしているように、子どもたちも、新たな学年で大きく花開くよう、この2・3月に学習面・生活面のまとめをしっかり行ってほしいと思います。また、全教職員が一丸となって子どもたちを支援してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

学校教育目標 あきらめず挑戦できる子

勉強する子・やさしい子・元気な子

児童数 1年31名 2年28名 3年23名 4年29名
5年33名 6年36名 ひた 8名 合計188名

令和7年1月31日 発行



〒342-0022

吉川市加藤641番地

TEL 048-982-2330

FAX 048-984-5271

2月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	土	
2	日	
3	月	健康観察アプリ（ホーム&スクール）運用開始
4	火	体罰等に係る調査提出①
5	水	体罰等に係る調査提出②
6	木	スクールカウンセラー来校
7	金	委員会活動
8	土	
9	日	
10	月	支援担当訪問（先生方の授業研究会）
11	火	建国記念の日
12	水	5時間授業 授業参観・懇談会（1年・3年・6年・ひ・た）
13	木	5時間授業 第3回 学校運営協議会 授業参観・懇談会（2年・4年・5年）
14	金	クラブ発表会（3年生参加）
15	土	
16	日	
17	月	校内体育授業研究会
18	火	さわやか相談日
19	水	6年中学校体験
20	木	特支校外学習（給センター） 学校保健委員会
21	金	クラブ活動 ふれあいデー
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	3・4年5時間授業
26	水	3・4年5時間授業
27	木	学校応援団の皆様へ感謝する会
28	金	委員会活動

保・幼・小連携（幼稚園園児との交流会）

ワカマツ幼稚園の園児がバス3台（約60名）で来校し、学校の施設見学と1・2年生との交流会を行いました。前半は、体育館にて歓迎の会として、1・2年生がダンスを披露しました。その後、小学生と園児が手をつなぎ、学校たんけん（案内）しました。

最後に、ワカマツ幼稚園の園児の皆さんから歌のプレゼント（ビリーブ）をいただきました。互いにドキドキワクワクの素敵な体験ができました。



楽しかった芸術鑑賞会 その2

今年度2回目となる芸術鑑賞会を1月27日（月）に実施いたしました。今回は、劇団「たんぽぽ」さんが来校し斉藤 洋さん原作の「ルドルフとイッパイアッテナ」という歌と踊りがいっぱい猫のお話を鑑賞しました。

演劇の中で、全校児童が歌と踊りで一緒に参加したりしました。とても楽しいひと時を過ごすことができました。（裏面も参照）



お知らせ

過日お知らせいたしました、児童の健康状態をスマホ等で学校に連絡するアプリが今までのリーバーからhome&school（緑色のアイコン）に代わります。詳しくは本校HPをご覧ください。

3月の主な予定

19日（水）給食終了日
21日（金）3時間授業
24日（月）卒業証書授与式（1～4年臨時休業）
26日（水）修了式

芸術鑑賞会 「ルドルフとイッパイアッテナ」



劇の最後は、曲に合わせて歌ったり体を動かしたりして参加しました。



舞台裏の様子も見学させていただきました。

2月分 下校時刻の変更について（お知らせ）

日 曜	変更を必要とする 行事名	変更後登下校時刻					
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
7 金	委員会活動				14:25		
12 水	通常日課5時間 授業参観・懇談会 (1・3・6年・特文)			14:25	14:25	14:25	14:25
13 木	通常日課5時間 授業参観・懇談会 (2・4・5年)				14:25	14:25	14:25
14 金	3年クラブ発表会			15:20			
19 水	6年中学校授業体験						15:30
25 火	3・4年5時間授業			14:25	14:25		
26 水	3・4年5時間授業			14:25	14:25		
28 金	委員会活動				14:25		

* 19日（水）：6年生は東中学校で体験授業を受けた後、自転車で自宅に帰ります。

令和6年度 吉川市立三輪野江小学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係 者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	4	学校が設定した各行事について、ねらいを明確にし、子どもたちの活躍の場を多く設定したことにより、子どもたちの成長が感じられた。	4	学校教育目標を具現化するための児童が個人目標と細かく設定することで、子どもたち一人一人の努力（目標）が学校教育目標の達成につながるよう意識して取り組むことができた。
2	教職員は、PDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあたり、	4	振り返りを活かし、次への取り組みの向上を目指して学級経営を行ったため、児童が落ち着いて学校生活を送ることができた。	4	教職員自己評価シートに自己の授業分掌や教科指導・学級経営の計画等を設定させて実践に当たっている。また、管理職が定期的に面談・見学を行い、お互い、どの職員も当初の目標達成に近づいている。
3	学校は、事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・提示し、迅速に対応できる体制を整えている。	4	学級内で起きた事故やトラブルに関しては、児童への対応や保護者への連絡を迅速に行った。今後も一人一人の子どもたちを大切にしながら誠意をもって対応していきたい。	4	本校のいじめ等に関する対応基本方針を策定し、研修を通じて共通理解を図っている。しかし、このことにおける知識を広く情報発信できていないので、次年度の最優先取り組み事項として位置付けている。
4	学校は、清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	3	市内の各学校と連携し、朝の活動（運動・朝食等）がなくなり、朝の活動内容を昼の活動にしたため、清掃回数が増したが今後も自らこまめに児童の育成を行っている。	4	年度当初の職員会にて、「ごみを落とさない。」「気が付いたら拾う。」「子供の育成を図ってきた。今後も甲子園学校だより等で取り組みを発信していきたい。
5	学校は、小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	4	夏季休業を活用し、3校合同研修会を行うことで共通理解を図ることができた。また、互いの授業参観や中学校を連携している。今後も継続していきたい。	4	東中、南小と教育研究協議会を推進し、小中学校から中学校への児童のいない学年への取り組みとして、中学校体験を実施した。今後も連携を密にし、取り組み内容の公開（情報発信）を積極的に行っていく。
6	教職員はPTA活動や地域の活動に積極的に協力し、地域の人材を活用した学習活動を積極的にしている。	4	地域人材の高齢化が進み、だんだん地域人材を活用した学習活動は縮小してきているという現状がある。新しい人材の開拓が必要であり、今後も学校から働きかけをしていく。	4	管理職がPTA運営委員会に参加し、積極的な発言を行ってきた。また、地域の活動にも積極的に関わり、消防団員の貸出等も行うことで、地域の人材活用では学年がランチャアとして多くの協力者をいただくことができた。
7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。	4	毎月、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。いつでもスマホから内容確認できるようにしている。	4	学校だよりは、カラー版にしてメール配信もすることにより保護者もいつでも確認できるようにしたことが高評価につながった。引き続き続けていきたい。
8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	4	地域の人材活用では、今までお世話になっていた夏季休業等の指導者の高齢化に伴い、連携が困難になってきているが、今後も新種の依頼をし、本校の特色ある教育活動を継続できるようにしていく。	4	夏季休業と中心に子供たちの心をはぐくむ活動を展開し、一定の成果を得ることができた。しかし、学校応援の方々の高齢化に伴い、次年度以降の連携については大きく見直す時期を迎えている。
9	児童は、落ち着いて学習に取り組む。学習内容を理解しようとしている。	4	落ち着いて学習に取り組んでいる児童が多い。また、家庭学習においても保護者の協力を得て頑張っている児童が多い。	4	学級担任による学級経営の充実により、一人一人が落ち着いて学校生活を送っている。また、通信と連携関係と一人一人の児童の成長の活用により、授業内容を発展させる児童が定着してきた。
10	教職員は、学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童の学習に基づいた授業改善に努めている。	4	学力調査の問題傾向や各学年における系統性を踏まえて自分たちが担当している学年の学習が、次年度以降のどんな学習につながっていくのかを理解して授業改善に当たっている。	4	学級担任は、担当する児童の学力や生活の様子を事前に把握し、個に応じた指導を行っている。今年度は、授業改善を推進し児童が主体的に学ぶ授業実践を行った。今後も児童に合った授業改善を図っていく。
11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	4	端末の活用や授業中の調べ学習に活用している。また、授業だけでなく、担任からの連絡や提出物の伝達などあらゆるものに活用している。	4	一人一台端末を文房具のように活用し、授業中に積極的に活用できた。また、3年生以上は家庭学習での活用も積極的にであったため、今後も継続した取り組みをしていく。
12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたり、	4	学習や生活のルールの徹底を生徒指導部を通じて継続して行く。東中学校区（東・三輪野江・東）でも、共通の認識にし、子どもたちの学習ルールの統一化を図っていく。	4	小中一貫教育の観点から作成した学習ルールをもとに指導に当たること、どの児童も定着化が図れている。今後も、学級懇談会等で保護者と共通認識のもとで取り組んでいきたい。
13	児童は、友達や教職員・来校者に進んであいさつしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	3	挨拶はよくできている児童が多い。しかし、廊下ですれ違う際の挨拶など、柔軟な対応は今後も継続した指導が必要であるため家庭の協力を依頼していく。	4	地域の方から、朝や帰りの挨拶は元気でできるという評価をいただいている。今後も挨拶のできる子供の育成を図ってきたい。
14	児童は学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができる。	3	学年の発達段階による差があるため、発達の段階に応じた適切な指導をゆくり丁寧に継続して行っていく。	4	多くの児童が担任の指導の下、積極正しい生活を日々心掛けていく。しかし、一部の特別な配慮を要する児童への生活のきまり等の厳格な指導については個に応じた特性に配慮しながら今後と取り組んでいきたい。
15	児童はいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	4	教職員がいじめや意地悪な行為を許さないことを日々示し、対応していることで、児童は比較的穏やかに学校生活を送ることができている。	4	学級担任は朝や帰りの会等の短時間有効活用して、友達をよさを指導してきたため、互いのよさを尊重し合いながら学校生活を円滑に送ることができた。
16	教職員は自ら手本となるなど、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	4	言葉遣いや態度などに留意して指導にあたっている。日常はもちろん授業中は丁寧に指導をし、指名も丁寧に（〇〇さん）している。	4	道徳や学級活動の時間や異年齢交流を通して規範意識の高まりが見られ、落ち着いた行動で過ごしている児童が多い。今後も継続した指導を行っていく。
17	児童は、体力向上に向け、体育の授業や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	4	体力向上のために時間がある子どもたちは外遊びを積極的にしている児童が多い。また、週1回本課日に設定しているロング昼休みでは、積極的に外遊びを通して体力の向上に取り組んでいる。	4	日頃の体育授業において、学校として統一した取り組みが充実しているため、運動に慣れ親しむ児童が多い。また、ロング昼休みを積極的に外遊びをする児童も多い。
18	学校は、児童の健康管理および食育に関する意識を高めようとしている。	4	健康観察アプリの活用により、児童の健康状態について早く把握することができた。食育に関する指導も、栄養士の先生による授業で意識を高めることができた。	4	本学年が実施した給食センターの栄養指導も大変効果的であった。しかし、感染率が低いため、今後も保護者の協力を得ながら対応していきたい。
19	学校は、児童の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、児童に寄り添った対応をしている。	4	本校は、一人一人の児童に対して、担任はもちろん、異学年の教員もみんなで見守っているという雰囲気がある。今後も、児童に寄り添った対応を継続していきたい。	4	生徒指導主任を中心に基本的な生活習慣について定期的な指導を行っていることにより、子供たちの立場に立った生徒指導を実現できるように取り組んでいる。
20	学校はいじめや不登校をなくすため、児童の指導の充実を図っている。	4	毎月、心と体のアンケートにより、児童の生活状況を把握することができている。このアンケートに設置されている内容については、指導事項を加筆し、管理職に報告し経過観察を行っている。	4	日常生活での子供たちの生活習慣について行い、いじめや不登校がなく充実した学校生活を送ることができた。今後も心と体のアンケートを活用し、いじめ・不登校のない学校を推進していく。